

学校健診調査でマスコミと懇談

未受診多い眼科・歯科に注目

協会は、学校健診後治療調査(17年11月〜18年1月実施)の結果について、マスコミ懇談会を5月24日、医科協会と共催した。マスコミはMB S、テレビ大阪、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、共同通信、しんぶん赤旗などの7社が、歯科から矢部あづさ理事、医科から高本英司理事長、井上賢二副理事長・安田雅章理事、黒川渡政策調査部長が出席した。



井上、矢部両氏が学校健診後治療調査の結果概要を報告した。懇談では、安田氏は学校医の立場から「健診後の受診率が眼科で約4割程度だった。これほど低い事を知らなかった。恐らく多くの校医が、この調査で初めて低受診率の実態を知ったのではないかと話した。また黒川氏は「自

由記述で寄せられた事例の中には、非常に重い内容のものがある」と話した。マスコミからは、未受診の多い眼科・歯科を中心に調査法や受診勧奨のあり方についての質問や、「調査に職者を入れては」などの積極的な提案も出され、活発に交流した。調査結果と共にマスコミ懇談会の様子、当日の「VOICE」(MBS)で放送された。

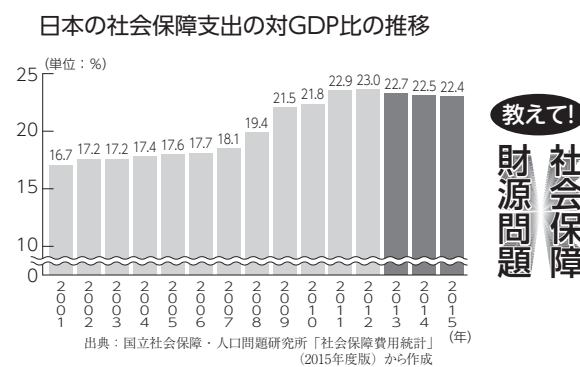
新人スタッフ総合講座

診療全体の流れつかめた

臨床学術部は5月13日、医療従事者として必要な接遇マナーや専門知識の習得をめざし、新人スタッフ総合講座を開催。歯科衛生士、歯科助手ら113人が参加した。

接遇マナーで講師を務めた水原道子氏(大手前短期大学教授)は、医療現場での接遇マナーの基礎から歯科に特徴的なトランプケースの対応を紹介した。「もう一度来た

いと思ってもうえるかどうかは、みなさんの少しの気配りや対応が要です。ファンになってもらう接客を心がけてほしい」と話した。助手編では、西川真二氏(臨床学術部員)が受付事務の基礎知識と歯科診療の流れを解説した。「全体の流れをつかむこ



社会保障 財源問題 教えて!

社会保障の充実には消費増税が必要では?

A 消費税で社会保障は改善しない。消費税を導入した1989年当時、政府は「福祉のため」「少子高齢化のため」と盛んに宣伝した。消費税を8%に引き上げる時も、増収分は「社会保障の充実」に充てること公約していた。しかし、いざフタを開けてみると医療も介護も年金も悪化の一途をたどっている。社会保障は常に後回しにされ、大資産家や大企業向けの景気対策や減税策、公共事業に財源が使われてきたからだ。社会保障支出のGDP比をみると、過去5年間(11〜15年)で最低を記録するほど落ち込んでいる。経済規模や高齢化に見合った支出になっていないのが実態だ。社会保障費を徹底的に抑制する政治の下では、いくら増税しても充実にはつながらない。

5・24国会行動 要請議員一覧

【衆院】(自民) 大隈和英、清原一、岡上昌平、谷川とむ、佐藤ゆかり、神谷昇、とかしきなおみ、北川知克、中山泰秀、大塚高司、左藤章、長尾敬、原田憲治、竹本直一(公明) 鰐淵洋子、北側一雄、伊佐新一、浮島智子(立民) 長尾秀樹、辻元清美、尾辻かな子、村上史好、森山浩行(維新) 井上英孝、浦野靖人、遠藤敬、馬場伸幸、足立康史、谷畑孝、丸山穂高(希望) 樽床伸二(国民民主) 平野博文(共産) 宮本岳志

【参院】(自民) 松川るい、太田房江、柳本卓治(公明) 山本香苗(共産) 大門美紀史、辰巳孝太郎、山下芳生 (敬称略・順不同)

どこまでホント? 健康情報



大阪大学歯学研究科長・歯学部 予防歯科学教授 天野敦雄

「大阪歯科保険医新聞」をお読みの皆様、こんにちは。本日、本紙コラム欄デビューの天野敦雄です。私、長らくアカデミア一筋でしたが、合縁奇縁、これから1年12回、紙面をお借りして個人の想いを吐きやかせて頂きます(これは本紙事務局の懇願によるものなので誤解無きよう)。本音を言えば、他人様の前で私見を披瀝するなど、みなし公務員には極めてリスクの高い所業。できれば断るべきである。しかし、学究の徒に臆病気弱は禁物。本紙事務局の慧眼が小生の非凡を見出したことを甘んじて受け入れ、生涯ひた隠ししておくつもりであった文才を隠せず披露する決意に至った(善男善女よ、この記事ネタに私を追いつまないうちに)。

さて、初回のつぎは「どこまでホント? 健康情報」。こんでも健康情報はどこの世界にもあるが、歯科にもある。塩で歯を50回こ

する(塩で血圧上がりそう)、ヨーグルトで歯を磨く(乳酸菌が効くらしい)、食後30分は歯を磨いてはいけない(2年位前かな? 撤回されたのは)。それに水素水もあった(妹の家で水素水生成機を見つけた)。他にもたくさんあるが、保身のため自重する(関係者に刺される)。

世の中には俺が(私が)知らない取っておきの薬や方法がある(信じて疑わない方が多いから、この手が流行る)。こんでも科学を大学で検証すべきと言ふ声もあるが、我々だってそんなに暇じゃ無い。楽しんで儲かる方法が無いのと同じとお悟り頂きたい(これが常識人だ)。

決意新たに憲法9条・25条を活かす道へ踏み出そう

安倍政権は社会保障費削減と軍事大国化を推し進めている。第2次安倍政権だけでも社会保障費の削減総額は1兆4600億円、2018年度予算でも概算で6300億円と見込まれた社会保障費の自然増を、医療・介護報酬を抑え込むことで300億円も圧縮した。安倍政権は、今後とも

18年10月に予定する生活保護の「生活扶助基準」の引き下げ、大企業減税や富裕層に対する優遇税制の改悪案を今年中に国会で発議し、国民投票に持ち込むことを狙っている。大阪では安倍政権の補完勢力として悪政を推進する維新政治をストップ

10月からの消費税率10%への引き上げを強行しようとしている。消費税は最悪の税制であり、受診抑制や歯科医療機関の「損税」が深刻化する。安倍首相は、憲法9

の政治姿勢が厳しく問われ、森友学園への国有地の格安払い下げや財務省の公文書改ざん、加計学園の獣医学部開設に係る首相官邸の関与など、民主主義を踏みこむ。安倍政権にこれ以上政

を断念させなければならぬ。私たちが今、大きな岐路に立っている。憲法9条と25条を活かし、社会保障の充実と恒久平和への道へ、決意を新たに踏み出そう。私たちは、平和な日本のもので、いつでも、どこでも、だれもが安心して「保険で良い歯科医療」を享受できる社会へ力を合わせよう。

2018年5月19日 大阪府歯科保険医協会 第54回通常評議員会

咀嚼玩味①



「どこまでホント? 健康情報」。こんでも健康情報はどこの世界にもあるが、歯科にもある。塩で歯を50回こ